

ふれあい

青少年育成葛西地区委員会

地区委員会だより
第62号
《8月発行》

第9回



青少年部とスポーツ・レク部共催の第9回ふれあいドッジビー大会が、1月26日(日)に葛西小学校・中学校の屋内運動場にて開催されました。4校5チーム66名の子どもたちが出場し白熱した試合を繰り広げました。試合は総当たり戦で行い、各試合の勝敗結果に基づくポイントの合計点を競います。

試合が始まると、皆、元気一杯にコート内を飛び跳ね、子どもたちの歓声とご家族の声援に会場全体が包まれました。勝利し雄叫びを上げる子どももいれば、負けて悔し涙を流す子どももいて、悲喜こもも、本当に熱い試合の連続でした。コロナ後の再開から本大会で3回目となり、運営もスムーズに行えたと思います。

試合後のアンケートでは、「楽しかった」「来年もまたやりたい」「次こそは優勝したい」といった感想をいただきました。来年もたくさん子どもたちが参加し、熱戦を繰り広げられることを期待しています。

【青少年部部長 小林 一規】



ふれあいドッジビー大会

令和7年1月26日(日)
葛西小学校・中学校 屋内運動場

第1回

ふれあいポッチャ体験&ミニ大会

令和7年3月2日(日)
葛西小学校・中学校 武道場



スポーツ・レク部、初めての試みとして3月2日(日)葛西小学校・中学校、武道場にて小学生25名が参加し、第1回ふれあいポッチャ体験&ミニ大会が行われました。

ポッチャは地上のカーリングと言われるスポーツで、白のジャックボール(目標球)に向けて、各チームが赤、青の持ち球それぞれ6球を投げ終わった時、ジャックボールにより近づいているボールの方が勝ちとなります。ボールは直径約9cm、300g程と軽く、投げたり転がしたり蹴ることもOKなので、体への負担も少なく、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もが同じコートで楽しむことができます。

予選でも各チームが作戦を立てて試合に挑みます。作戦どおりうまく投げられて喜びの声を上げたり、うまく転がらなくて悔しがったりと、会場は大いに盛り上がりしました。決勝戦は、1球1球に場内が息を呑む緊張感の中、ナイスショットで熱戦が繰り広げられました。

試合を終えた子どもたちからは「わくわくドキドキした」「簡単そうで難しい」「協力し合ったから楽しかった」「もつとやりたいたなどの声が寄せられました。

今回は第1回ということもあり、各部役員の協力を得て、無事に開催することができました。

【スポーツ・レク部部長 嶋田 孝志】



校長先生・PTA会長ご紹介

<p>◆葛西小学校 校長 / 荒巻 淳 PTA会長 / 木村 善一</p>	<p>●二之江中学校 校長 / 千野 裕司 PTA会長 / 黒詰 清子</p>
<p>◆二之江小学校 校長 / 大石 吉郎 PTA会長 / 酒井 麻子</p>	<p>●葛西中学校 校長 / 荒巻 淳 PTA会長 / 彦田 徹</p>
<p>◆二之江第二小学校 校長 / 鳥居 圭 PTA会長 / 井戸 隆男</p>	<p>●東葛西中学校 校長 / 山田 尚孝 PTA会長 / 吉村 公宏</p>
<p>◆第二葛西小学校 校長 / 吉田 佳代 PTA会長 / 山口 秀行</p>	<p>●瑞江中学校 校長 / 薦田 敏 PTA会長 / 天喰 謙一 (行政順・敬称略)</p>



令和7年度青少年育成葛西地区委員会の総会を開催いたしました。活動計画・予算等の5つの議案について審議し、すべて承認されました。また、総会終了後は懇親会を開き、町会・自治会、子ども会、学校、PTAなど多くの関係者が親睦を深め、地域の結束力を一層強めました。

今年度もより良い事業を行うために、地区委員会一同、力を合わせて子どもたちの健全な育成に尽力いたします。地域の皆様のお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

年間活動予定

予定日	行事名	会場
上半期		
7月13日㊦	サイエンスショー(夏期講演会)	第二葛西小学校 屋内運動場
7月29日㊦	夏休み夜間パトロール(1回目)	二之江地区および長島・桑川地区管内
8月 5日㊦	夏休み夜間パトロール(2回目)	二之江地区および長島・桑川地区管内
8月10日㊦	夏休み工作教室	長島桑川コミュニティ会館
8月24日㊦	ふれあい女子バレーボール大会	葛西小学校・中学校 屋内運動場
	ふれあい卓球大会	葛西小学校・中学校 武道場
9月21日㊦	二之江地区区民運動会(協力)	二之江第二小学校
9月28日㊦	長島・桑川地区区民運動会(協力)	第二葛西小学校
下半期		
10月19日㊦	第50回葛西まつり 出店	葛西市民館 および周辺
11月 9日㊦	秋期講演会	葛西市民館
11月30日㊦	まちなか探検クイズ! ポイントラリー&ターゲットポッチャ	長島桑川コミュニティ会館 および周辺
令和8年 1月18日㊦	防災体験学習ツアー	本所防災館
1月25日㊦	第10回 ふれあいドッジビー大会	葛西小学校・中学校 屋内運動場
2月 8日㊦	早朝親子スケートの集い	江戸川区 スポーツランド
2月15日㊦	第25回 ふれあいソフトバレーボール大会	長島桑川コミュニティ会館
3月 1日㊦	ふれあいポッチャ体験&ミニ大会	葛西小学校・中学校 屋内運動場

ふれあい 第62号《8月発行》

発行: 青少年育成葛西地区委員会
編集: 広報部
事務局: 〒134-0083 中葛西3-10-1
江戸川区葛西事務所地域サービス係
TEL 3688-0434 FAX 3688-8441

【広報部副部長 山田 通久】

編集後記

へんしゅうこうき

昨年はゲリラ豪雨や記録的な猛暑が続く、異常気象という言葉がしばしば聞かれましたが、子どもたちは熱中症などの対策もしっかりと、元気よく活動する様子を前号と今号でたくさん紹介することができました。

今年も猛暑が続いていますが、地区委員会では対策も十分に、環境の浄化や健全育成を目指した行事や講演会を盛りだくさん企画していますので、皆さんの参加をお待ちしています。

なお「ふれあい」発行にあたり、多くの皆様にご協力いただきましたことを感謝申し上げます。

令和6年度青少年育成活動推進者表彰
【対象】江戸川区青少年育成地区委員として青少年の育成活動を積極的に推進している者

◆受賞者
◆専本 正樹
◆甲 淳己
◆青少年部副部長 / 二之江東町会 宮本 真由美
◆スポーツ・レク部副部長 桑川町民会 湯谷 幸

そうちょうおやこスケートのついで 早朝親子スケートの集い

令和7年2月9日(日)江戸川区スポーツランド



2月9日(日)「早朝親子スケートの集い」が江戸川区スポーツランドで行われました。朝8時という早朝にもかかわらず、貸切バスや自家用車で160名の親子が参加しました。開会式の後、参加者の皆さんは手袋、靴、ヘルメットを着けて待ちかねたようにリンクの中へ入って行きます。毎年参加してくれる家族、今年初めて参加された家族といるので、「去年は親にしがみついてばかりだったのに、今年は親を置いて先にさっさと滑っていくんだよ」と話すお父さん。転んでも笑顔で立ち上がりつて練習する子ども。手を繋いで滑る親子。1時間半ほどですが、貸切の広いリンクを皆さん思い思いに時間いっぱい楽しんでいました。

当日は初心者講習会も開かれ、壁につかまっていた子ども、立つのが精一杯の子どもも講師の指導で見る見る上達して、30分後にはスムーズに滑れるようになりました。

最後は参加者全員で記念写真を撮りました。皆さんの思い出づくりをスタッフとしてお手伝いできたことを嬉しく感じています。来年も是非皆様の参加をお待ちしています。

【副委員長 牧野田 友康】

親子クッキング

令和7年2月23日(日) 葛西区民館



2月23日(日)、葛西東支部恒例の親子クッキングが親子3組(8名)の参加で開催されました。

今年のメニューは飾り寿司とスープです。親子で協力しながら美しい飾り寿司を完成させ、切り分けた瞬間の華やかな模様を目を輝かせる姿が印象的でした。

スープ作りでは、具材を丁寧に切り分け、じっくり煮込んで仕上げました。一緒に料理をすることで、子どもたちは食の知識や技術を学び、保護者の皆様も成長を実感されたことでしょうか。来年もたくさんの参加をお待ちしております。

【区子連葛西東支部 喜本 正樹】

自転車盗ゼロ作戦

令和7年6月28日(土) 西葛西駅周辺



青少年育成葛西三地区委員会合同の自転車盗難防止活動「自転車盗ゼロ作戦」が実施され、地域の中学校9校から227名の生徒が参加しました。

出発式では斉藤区長、佐々木葛西警察署長より激励の言葉をいただき、駅前や団地、駐輪場などに分かれて啓発ティッシュの配布や無施錠自転車の調査を行いました。

調査の結果、2001台中1655台の自転車が無施錠の状態でした(無施錠率8.25%)。こうした調査・啓発活動が、数字の先にある「安全安心」への意識を地域全体に広げる契機となり、今後、防犯への関心がさらに高まっていけることを願っています。

【青少年部副部長 大木 瑞樹】

防災体験学習ツアー

令和7年1月19日(日) そなエリア東京

参加者概要
葛西地区委員会管内の小学生・中学生とその保護者等、57名
都バス貸し切り2台



今回の防災体験学習ツアーには、90名近くの応募をいただき、抽選となりました。

会場の「そなエリア東京」は、施設がリニューアルされ、更に内容が充実していました。

【防災体験ゾーン】では「東京直下72h T.O.U.R」を体験しました。タブレットを使用したクイズや震度7の首都直下地震の発生から避難までの再現したジオラマ展示では、建物からの脱出や被害の広まった街からの避難行動を通して、安全確保体験と被災直後を生き抜く知恵を学びました。地震発生時には携帯電話での連絡が難しくなる可能性が高いため、171(災害用伝言ダイヤル)を活用して伝言を残し、家族に安否を確認する重要性も紹介されました。

【防災学習ゾーン】では、映像ホールでマグニチュード8.0の地震を描いたアニメ映像を視聴。リアルな描写に涙を流す子どももいるなど、地震の恐ろしさや災害に備える大切さを改めて学びました。

【二人ひとりがそなエリア】では、わが家の避難場所・アレルギー情報などの大切な人のために必要な様々な「そなえ」についての具体的な知識を得ました。

参加者からは「震度7で倒壊した東京の街並みが驚きだった」「避難場所の確認が必要」といった声や、「家族を守るために何ができるか真剣に考えさせられた」という意見が寄せられました。

今、南海トラフ地震や首都直下地震の発生が危惧され、江戸川区は水害リスクも高い地域です。想定される大地震や津波、洪水のリスクを知り、災害に備えることがその後の行動に大きな差を生むことを実感しました。

是非、ご家族でも防災対策や避難場所、連絡方法について話し合ってください。研修部では、今後も防災体験研修を継続し、地域の皆様に役立つ情報を発信してまいります。

【研修部部長 鈴木 恒】

ふれあいソフトバレーボール大会

令和7年2月16日(日) ニエ江コミュニティ会館



2月16日(日)、ニエ江コミュニティ会館スポーツルームにて、第24回ふれあいソフトバレーボール大会が、5チーム24名の選手が参加して、開催されました。はつらつとしたプレーに声援も加わり、熱戦が繰り広げられました。

最終戦で、三連覇を目指して勝ち進んでいたLotta Aチームに、しゅんはいAチームが接戦の末に勝利し、優勝に輝き大会が大いに盛り上がりしました。

当日は大会役員と参加団体の協力のもと、準備試合進行などスムーズに運べ、無事に大会を終了することができました。

【スポーツ・レク部部長 永井 吉郎】

結果は下記の通りです

優勝	しゅんはいA
準優勝	Lotta A
3位	Lotta B